

第8期 事業概要 (2021年3月期)

【基本方針】

当社は「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖においてムーミンの物語の世界観を追究できる「ムーミンバレーパーク」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業やお取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感のもとに、企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府からの緊急事態宣言の発令による、外出自粛や営業制限などに伴う国内個人消費が大幅に減少し、極めて厳しい年度となりました。

このような状況の中、ムーミンバレーパークは2020年4月の年度開始から65日間の休園となり、6月4日から営業を再開するにあたり、県が取り組むよう推進している感染拡大防止のガイドライン「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」を踏まえ、「3つの密」を避けることなど対策を実施し、来園者、従業員問わず、検温やこまめな手指消毒や施設内の消毒の感染対策を徹底致しました。

一方ではコロナ禍の影響による来場者数、売上高の急減を踏まえて4月以後人件費や管理コストなどの削減により、収益体質の強化及び運転資金の確保を図りました。

当社の自然豊かな屋外の環境であることや、日本最大級・約2,000本の色とりどりの傘が広がる「メッツァ アンブレラスカイ・デザインプロジェクト2020」開催などで、第2四半期は来場者が徐々に回復傾向に向かい、SNSを活用したフォトコンテスト実施なども好評を頂きました。

また2021年1月8日からの2度目の緊急事態宣言発令中は感染対策の徹底を行い閉園することなく営業を続けました。3月のムーミンバレーパーク2周年に合わせた「SPRING FESTIVAL」では、「春のしらべ」をモチーフにした各種体験型のイベントや、ムーミン谷エリアのデコレーションなど、春のムーミンバレーパークを更に楽しめる様々なコンテンツを展開しました。またエンマの劇場では、ライブエンターテインメントの演目がリニューアルされ「自由でしあわせな生活」を開始いたしました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高 2,111 百万円（前年同期間は5,153 百万円）、営業損失 747 百万円（前年同期間は営業損失 142 百万円）、経常損失 921 百万円（前年同期間は経常損失 362 百万円）、当期純損失 1,091 百万円（前年同期間は当期純損失 436 百万円）となりました。

第8期決算情報

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6

株式会社ムーミン物語

代表取締役社長 千田 高

貸借対照表

(2021年3月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
流動資産	1,007	流動負債	2,344
固定資産	7,138	賞与引当金	24
		その他	2,319
		固定負債	5,598
		負債合計	7,942
		株主資本	
		資本金	2,032
		資本剰余金	2,032
		資本準備金	2,032
		利益剰余金	△3,875
		その他利益剰余金	△3,875
		新株予約権	15
		純資産合計	203
資産合計	8,146	負債・純資産合計	8,146

損益計算書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
売上高	2,111	経常損失	△921
売上原価	2,115	特別利益	98
売上総利益	△4	特別損失	265
販売費及び一般管理費	743	税引前当期純損失	△1,088
営業損失	△747	法人税、住民税及び事業税	3
営業外収益	145	当期純損失	△1,091
営業外費用	319		